

J-クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成 27 年 2 月 26 日

審査機関名 一般財団法人 日本品質保証機構

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	病院施設における空調用冷温水ポンプへのインバーター制御設備（エコビジョン）導入による排出削減事業
承認番号	JCDM-PJKC1550
排出削減事業者名	独立行政法人労働者健康福祉機構九州労災病院門司メディカルセンター
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構
事業実施場所	独立行政法人労働者健康福祉機構 九州労災病院門司メディカルセンター (福岡県北九州市門司区東港町 3 番 1 号)
事業の概要	本事業は、セントラル空調用の冷温水ポンプを負荷に応じたインバーター制御を行うことで、電力使用量および CO2 排出量の大幅な削減を図るものである。
排出削減量の計画	< 限界電源係数 > 2012 年度 2t tCO2/年 2013 年度 69 tCO2/年 2014 年度 62 tCO2/年 2015 年度 57 tCO2/年 2016 年度 54 tCO2/年 2017 年度 53 tCO2/年 (事業実施期間合計 297tCO2) < 全電源排出係数 > 2012 年度 1tCO2/年 2013 年度-2016 年度 54tCO2/年 2017 年度 53tCO2/年 (事業実施期間合計 270tCO2)

国内クレジット 認証期間	開始予定日 2013年3月25日 終了予定日 2018年3月34日
排出削減方法論	方法論番号 005 間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2014年3月31日（第1回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績確認期間における排出削減量（**110 t-CO₂**）は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	審査手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること。	1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 排出削減事業関係者への質問や工事竣工引渡書等を確認した結果、開始日が開始予定日より前であることを確認した。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 排出削減事業関係者への質問やエコビジョン測定記録等を確認した結果、導入設備は実績報告期間において稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	1) モニタリング方法の確認 排出削減事業関係者への質問やエコビジョン測定記録等を確認した結果、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。 2) 活動量の正確性 排出削減事業関係者への質問やエコビジョン測定記録等を確認した結果、適切に維持管理された計測機器により活動量の計測が適切に行われ、エネルギー使用量その他の計測値の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されて

	<p>いることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果を測定結果と突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に大きな誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果が2013年3月31日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は2013年4月1日から2014年3月31日までとなっており、排出削減量を算定した期間がクレジット認証期間の終了日である2018年3月24日を超えていないことを確認している。</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

本実績確認期間の実績確認の結果、承認排出削減事業計画からの重要な変更点がないことを確認した。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 50.0 kLであることを確認した。

以 上